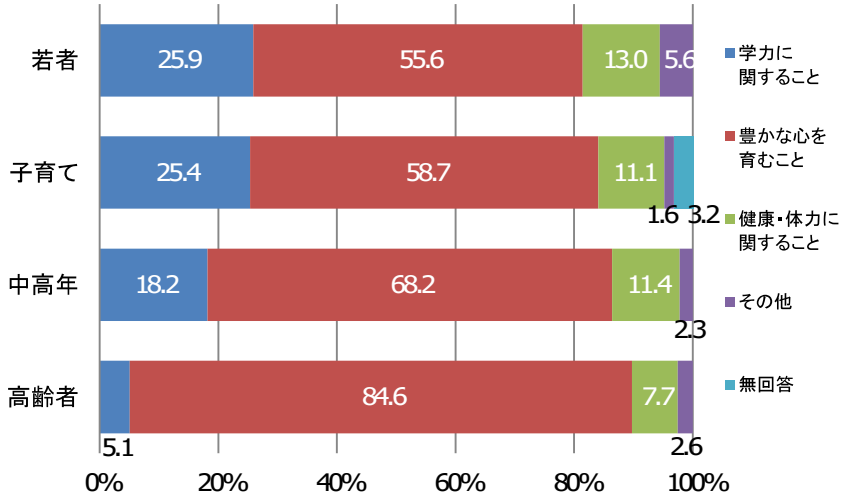
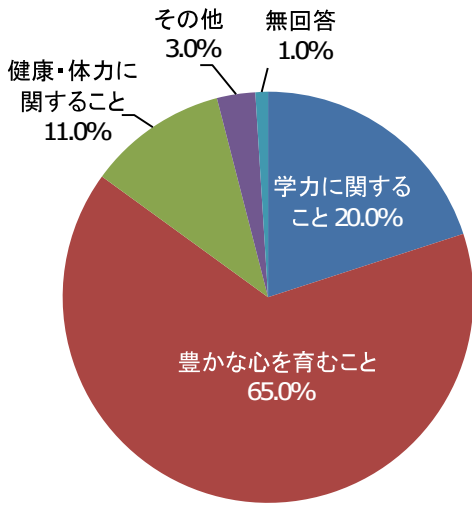


# <浜松市の教育について>

## 問1 子供の教育で関心があること (N=200)

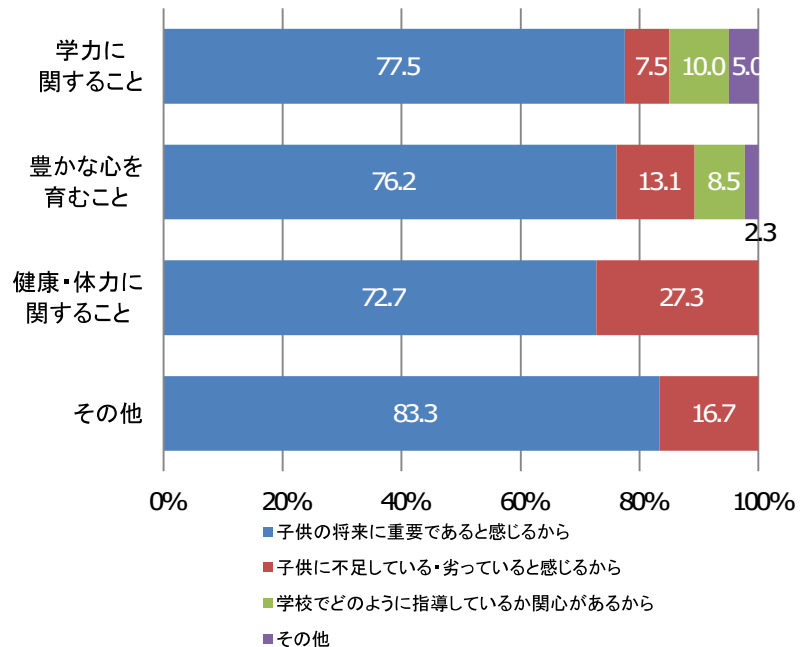
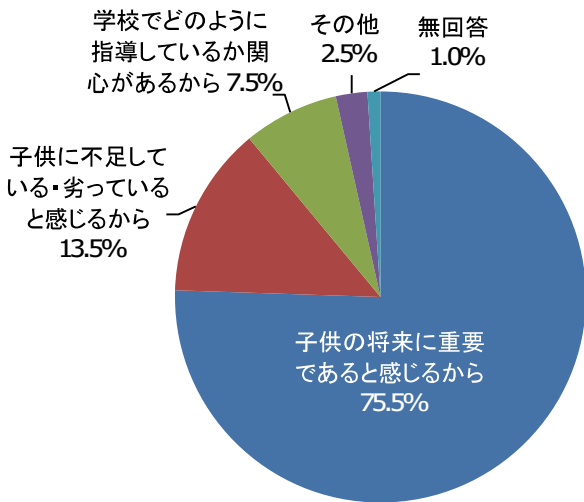


### ■その他意見

- ・生きる力を育てること
- ・社会、地域に貢献すること
- ・学習障害の子に対する支援
- ・職業教育

- 子供の教育で関心があることについては、「豊かな心を育むこと」が約7割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみても、全ての世代で「豊かな心を育むこと」が最も多い回答となっています。

## 問2 問1の回答を選んだ理由 (N=200)

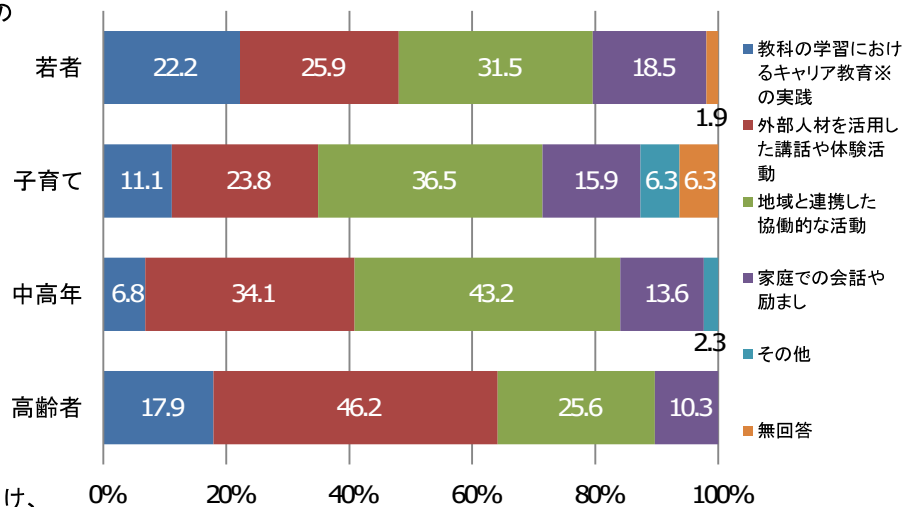
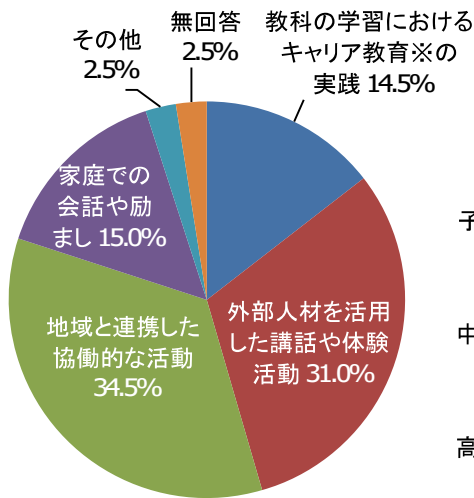


### ■その他意見

- ・今の教育方法が理解できないため
- ・学校によって教え方に隔たりがあると感じるため
- ・今の大人に豊かな心が足りないと感じるため

- 問1の回答を選んだ理由については、「子供の将来に重要であると感じるから」が約8割と最も多い回答となっています。
- 問1の回答別にみても、全ての回答で「子供の将来に重要であると感じるから」が最も多い回答となっています。

■問3 子供たちが自分らしい生き方を実現するために大事だと思う取り組み (N=200)



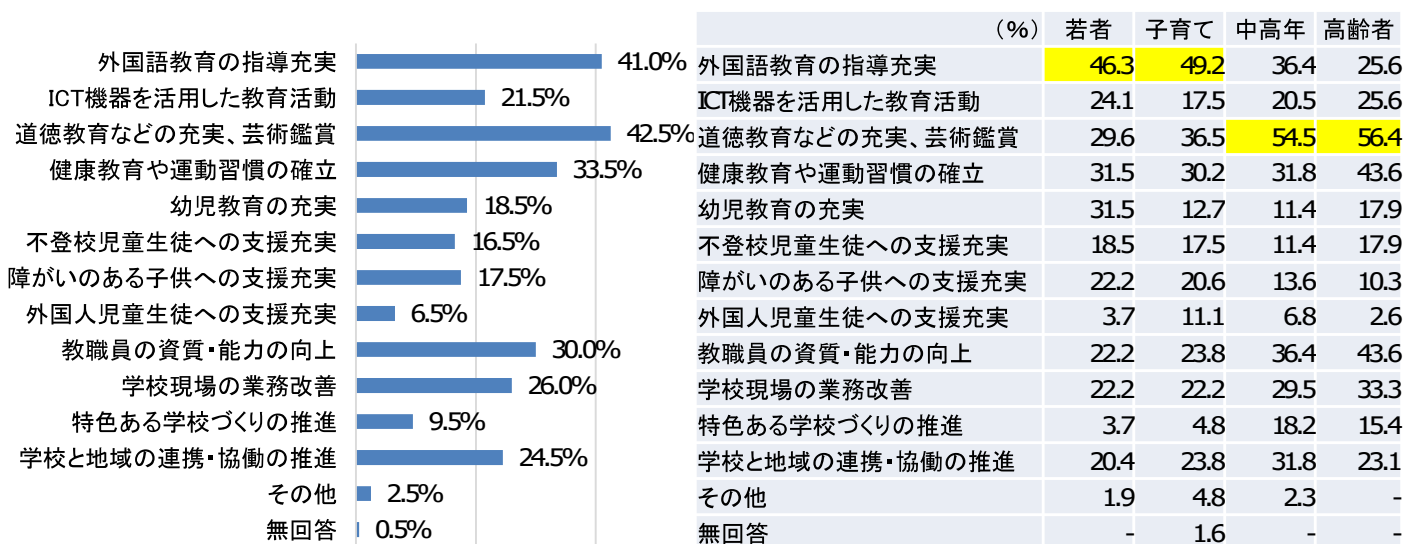
※ キャリア教育: 一人一人の社会的自立に向け、必要な力を育てることを通して、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくための教育

■その他意見

- ・いろいろな職業にふれること
- ・物事をシンプルに教えること
- ・教育者の人格の向上

- 子供たちが自分らしい生き方を実現するために大事だと思う取り組みについては、「地域と連携した協働的な活動」が最も多く、次いで「外部人材を活用した講話や体験活動」も約3割となっています。
- 世代別にみると、若者・子育て・中高年では「地域と連携した協働的な活動」が、高齢者では「外部人材を活用した講話や体験活動」が最も多い回答となっています。

■問4 浜松市の今後の教育施策で重要だと思う取り組み (N=200 複数回答)



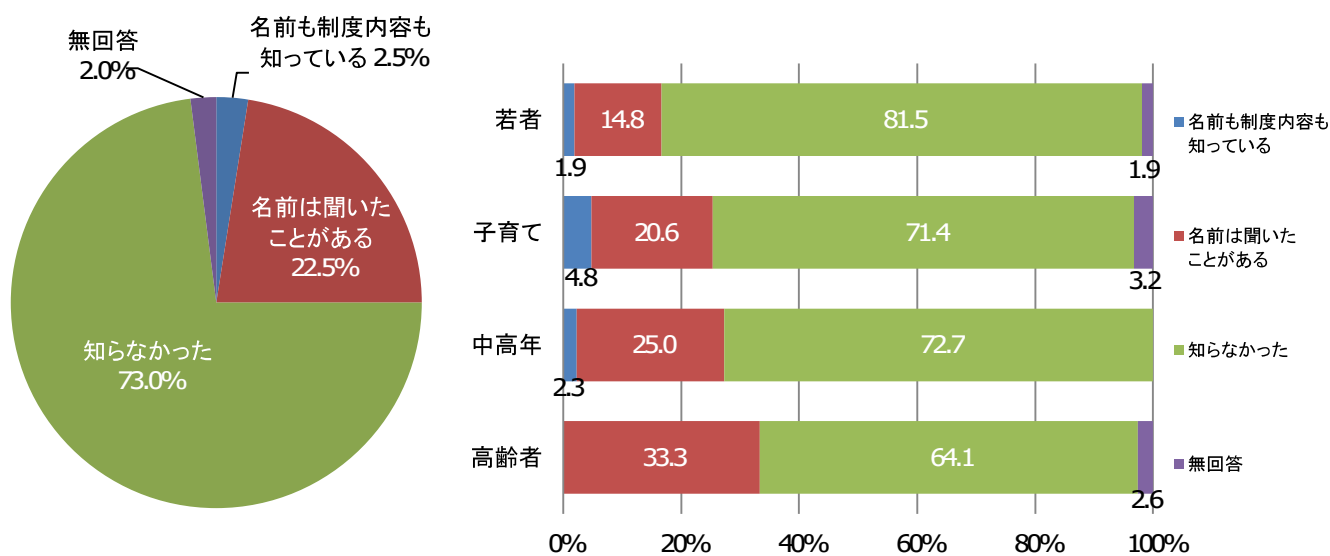
■その他意見

- ・当たり前のことができるための教育
- ・コミュニケーション能力
- ・お金についての教育
- ・外国人との共生

- 浜松市の今後の教育施策で重要だと思う取り組みについては、「道徳教育などの充実、芸術鑑賞」と「外国語教育の指導充実」が約4割となっています。
- 世代別にみると、若者・子育てでは「外国語教育の指導充実」が、中高年・高齢者では「道徳教育などの充実、芸術鑑賞」が最も多い回答となっています。

## 問5 「コミュニティ・スクール※」の認知度 (N=200)

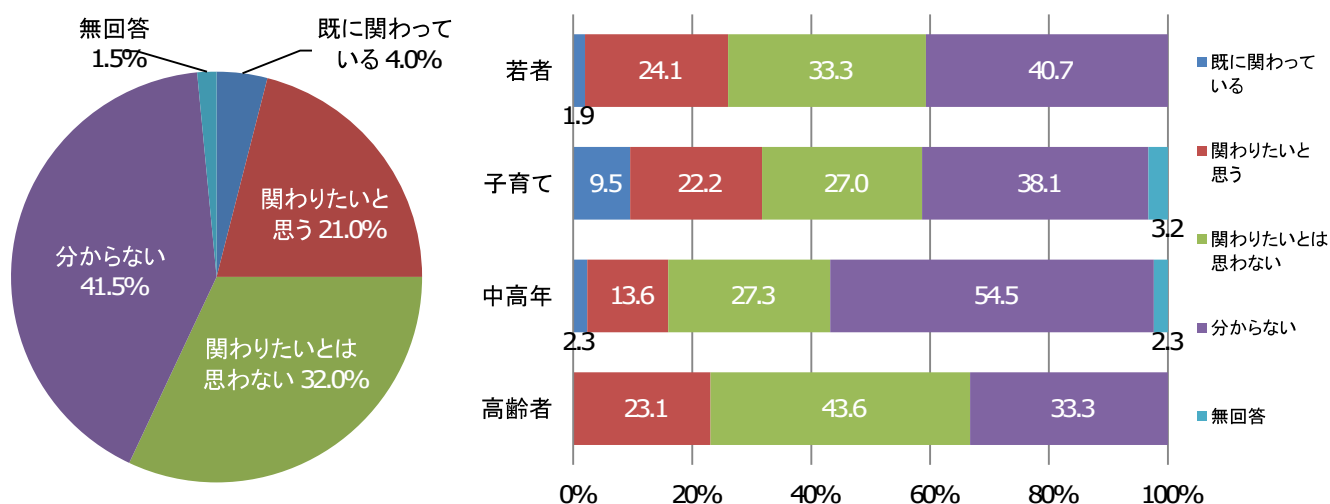
※ コミュニティ・スクール: 保護者や地域住民等で構成する「学校運営協議会」を設置した学校



- 「コミュニティ・スクール」の認知度については、『知っている』（「名前も制度内容も知っている」と「名前は聞いたことがある」の合計）が約3割となっています。
- 世代別にみると、世代が高くなるにつれて『知っている』の回答割合が高くなっています。

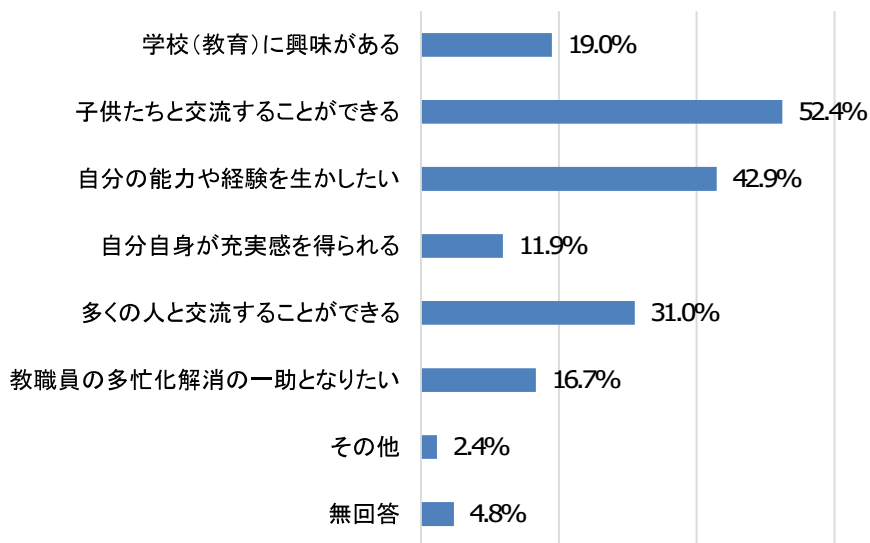
## 問6 学校運営を支援する活動※への関心 (N=200)

※ 例: 調理実習などの授業補助、野外活動の付き添い、運動会のテント張りなどの学校行事のサポート、登下校の見守り、花壇整備など。



- 学校運営を支援する活動への関心については、「分らない」が約4割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみると、若者・子育て・中高年では「分らない」が、高齢者では「関わりたいとは思わない」が最も多い回答となっています。

■ 問7 学校運営を支援する活動に関心がある理由 (N=42 複数回答)  
(問6で「2 関わりたいと思う」と回答した方)

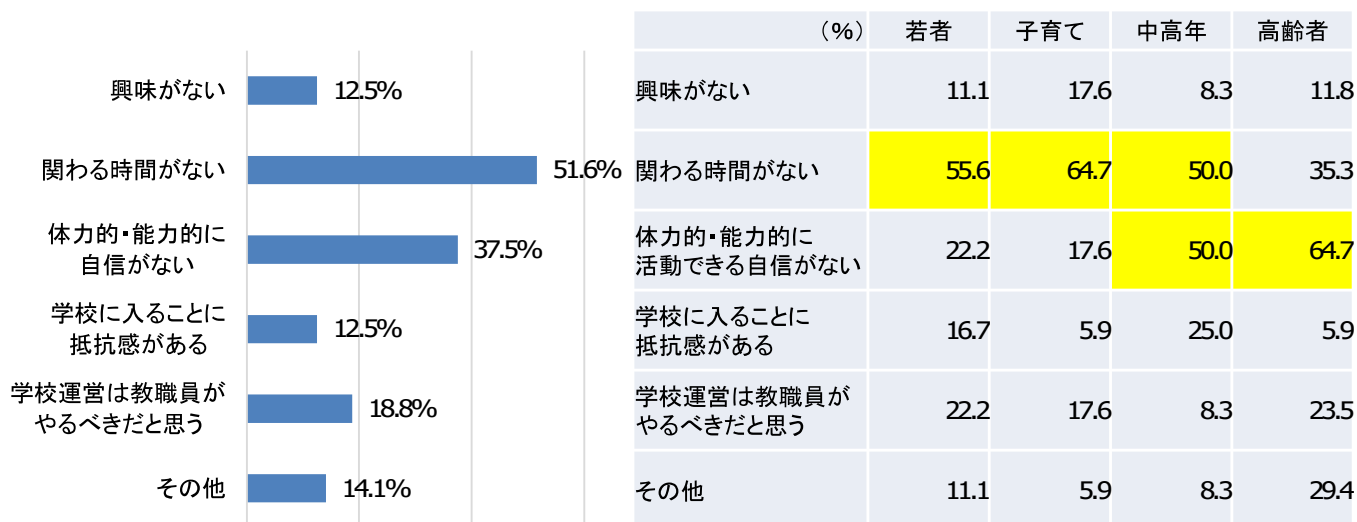


■ その他意見

- ・簡単にできることなら関心がある

■ 学校運営を支援する活動に関心がある理由については、「子供たちと交流することができる」が約5割と最も多い回答となっています。

■ 問8 学校運営を支援する活動に関心がない理由 (N=64 複数回答)  
(問6で「3 関わりたいとは思わない」と回答した方)



■ その他意見

- ・接点がないから
- ・年齢的に厳しい
- ・要求以上のことをする人がいるため

■ 学校運営を支援する活動に関心がない理由については、「関わる時間がない」が約5割と最も多い回答となっています。

■ 世代別にみると、若者・子育てでは「関わる時間がない」が、中高年では「関わる時間がない」と「体力的・能力的に活動できる自信がない」が、高齢者では「体力的・能力的に活動できる自信がない」が最も多い回答となっています。